

平成26年度（基盤研究(S)）研究概要(採択時)

【基盤研究(S)】

人文社会系（社会科学）



研究課題名 グローバル経済におけるリスクの経済分析～国際経済学の視点から～

一橋大学・大学院経済学研究科・教授

いしかわ じょうた
石川 城太

研究課題番号：26220503 研究者番号：80240761

研究分野：国際経済学

キーワード：グローバル化、国際経済学、リスク

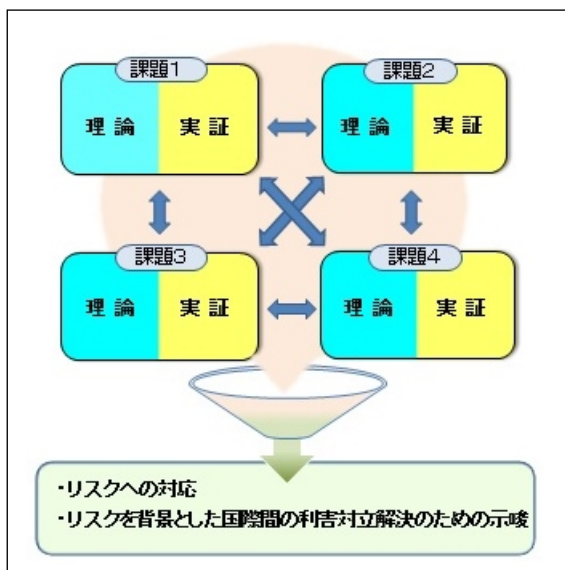
【研究の背景・目的】

地球規模での環境破壊、世界的な金融危機、大規模な災害、政変やテロなど、リスクや危機に対する意識が社会的に高まっている。グローバル化が進んだ経済では、国際貿易・投資がリスクの一因となったり、リスクを拡散・増幅させたりする。逆に、リスクが国際貿易・投資に大きな影響を及ぼしたりもする。

本研究の目的は、グローバル経済における様々なリスクを「国際経済学」の視点から新たな切り口で分析することにある。特に（課題1）国際金融市場に関するリスク、（課題2）グローバルな環境問題、（課題3）国際的な生産ネットワークに伴うリスク、（課題4）大規模災害リスクといった緊急かつ重要なテーマに重点を置き、リスクそのものへの対処に関する新たな知見を得るとともに、リスクを背景とした国際間の利害対立解決のための示唆を得る。

【研究の方法】

個々の課題では、理論モデルの構築とデータによる検証をバランスよく行うことで、理論と実証分析の融合を図る。実証分析においては、マクロデータに加え、企業レベルのデータを構築して利用する。個々の課題の重要性を認識し、それらを有機的に結びつけるために、ワークショップなどを頻繁に開催



研究組織

し、それぞれのリスクに関する情報や問題意識の共有を図る。さらに、個々の分析を相互に検証しあうことによって、経済リスクそのものへの対処に関する新たな知見を得るとともに、経済リスクを背景とした貿易制限などの国際間の利害対立解決のための示唆を得る。

【期待される成果と意義】

（課題1）国際金融市場に関わるリスク：グローバル経済下で制度構造や政治構造を内生的に扱う。これによって、金融政策に関する新たな知見を得ることができ、さらに政治リスクも考察可能になる。

（課題2）グローバルな環境問題：経済発展の程度や制度・慣習などの国際的差異を明示的に考慮することで、グローバル経済下での効果的な環境政策の立案のための示唆が得られる。さらに、従来は独立に研究されてきた環境問題と災害リスクを関連づけることで、新たな知見が得られる。

（課題3）国際的な生産ネットワークに伴うリスク：生産ネットワークや企業の取引関係におけるリスク分析は、企業戦略および経済政策上、重要な研究課題である。

（課題4）大規模災害リスク：輸出主導型の経済成長を遂げつつあるアジアの途上国の成長持続可能性を、経済理論と独自に収集するマイクロデータを用いた実証研究を統合させることで明らかにする。また、政治的な不安定性を人的災害という観点から捕らえて分析する。

【当該研究課題と関連の深い論文・著書】

- ・ K. Kiyono, and J. Ishikawa, "Environmental Management Policy under International Carbon Leakage," *International Economic Review*, vol. 54, 2013, pp. 1057-1083.
- ・ J. Ishikawa, and K. Kiyono, "Greenhouse-gas Emission Controls in an Open Economy," *International Economic Review*, vol. 47, 2006, pp. 431-450.

【研究期間と研究経費】

平成26年度～30年度
150,000千円

【ホームページ等】

<http://www.econ.hit-u.ac.jp/~getrade/s>